

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床医学総論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期 土曜日	教室名	1校舎401.501
担 当 教 員	①中島弘美 ②水口洋一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
①解剖学・基礎生理学をベースとした病理学の基礎を修得させ、その知識を他の科目につなげ、理解する能力を身に付ける。②病理学は、病気の成り立ちを学ぶ「基礎医学と臨床医学の懸け橋」となる学問である。一年生では解剖学・生理学・生化学・免疫学・血液学・微生物学などの基礎医学修得と同時進行、あるいは病理学が先行することになるので、基礎医学分野の概要と病理学を繋げて理解できる能力を修得する。特に、後期は病理学各論に相当するので、各器官についての基礎も同時に修得する。						
《成績評価の方法と基準》						
期末及び中間の筆記試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
カラーで学べる病理学(ヌーヴェルヒロカワ) 臨床検査学講座 病理学・病理検査学(医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
カラーで学べる病理学(ヌーヴェルヒロカワ) 臨床検査学講座 病理学・病理検査学(医歯薬出版)						
《履修に当たっての留意点》						
病理学に関連図けて、解剖学や生理学の知識も増やしていく。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	唾液腺・食道の基礎とその代表的な疾患について説明できる。		カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する	
	各コマにおける授業予定	唾液腺・食道の基礎とその代表的な疾患について学ぶ。				
第2回	授業を通じての到達目標	胃・小腸の基礎とその代表的な疾患について説明できる。		カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する	
	各コマにおける授業予定	胃・小腸の基礎とその代表的な疾患について学ぶ。				
第3回	授業を通じての到達目標	大腸の基礎とその代表的な疾患について説明できる。		カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する	
	各コマにおける授業予定	大腸の基礎とその代表的な疾患について学ぶ。				
第4回	授業を通じての到達目標	肝臓・膵臓の基礎とその代表的な疾患について説明できる。		カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する	
	各コマにおける授業予定	肝臓・膵臓の基礎とその代表的な疾患について学ぶ。				
第5回	授業を通じての到達目標	女性生殖器の基礎とその代表的な疾患について説明できる。		カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する	
	各コマにおける授業予定	女性生殖器の基礎とその代表的な疾患について学ぶ。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	男性生殖器の基礎とその代表的な疾患について説明できる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	男性生殖器の基礎とその代表的な疾患について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳腺の基礎とその代表的な疾患について説明できる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	乳腺の基礎とその代表的な疾患について学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系疾患と、生殖器・乳腺の疾患について細部にわたり、明確に説明できる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	消化器系疾患と、生殖器・乳腺の疾患についての知識を整理し、理解を深める。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の基礎と閉塞性障害について説明できる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	呼吸器系の基礎と閉塞性障害について学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の拘束性障害と循環障害について説明できる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	呼吸器系の拘束性障害と循環障害について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の炎症について説明できる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	呼吸器系の炎症について学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎・尿路系の基礎と腎腫瘍について説明できる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	腎・尿路系の基礎と腎腫瘍について学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎・尿路系の腎系球体病変と膀胱の基礎と疾患について説明できる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	腎・尿路系の腎系球体病変と膀胱の基礎と疾患について学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系と腎・尿路系の疾患について細部にわたり、明確に説明できる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	呼吸器系と腎・尿路系の疾患についての知識を整理し、理解を深める。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期・後期を通して学んだ疾患について、明確に説明できる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	前期・後期を通して学んだ疾患についての知識を整理し、理解を深める。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	・循環器系①:循環器系の概要と、循環器疾患の障害のメカニズムを理解する	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	・循環器系器官の概要と、循環器系の疾患(心臓疾患)について学ぶ		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	・循環器系②:循環器系疾患(血管疾患)について理解する	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	・循環器系の疾患(血管疾患)について学ぶ		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	・炎症①:生体防御反応である炎症の基礎について理解する。	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	・炎症について、原因、基本病変、しくみ、関与する細胞・物質などについて学ぶ。		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	・炎症②:急性炎症と慢性炎症について理解する。	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	・急性炎症と慢性炎症の分類、メカニズムについて学ぶ。		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	・免疫とアレルギー①:免疫のしくみと働きについて理解する。	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	・免疫系のしくみと働きについて学ぶ。		
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	・免疫とアレルギー②:免疫系の疾患について理解する。	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	・免疫系の疾患(アレルギー・自己免疫疾患など)について学ぶ。		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	・感染症:感染症の基礎を理解する。	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	・感染症の基本事項、病原微生物の種類、感染防御機構など、感染病理について学ぶ。		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	・後期、第1回から第7回の授業のまとめ	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	・後期、第1回から第7回の授業のまとめを行い理解を深める		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	・造血器系①:造血器系の形態と機能について理解する。	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	・造血器系、特にリンパ組織の概要について学ぶ		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	・造血器系②:造血器系の主な疾患について理解する。	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	・造血器系、特にリンパ組織の代表的な疾患について学ぶ。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	・脳・神経系の形態と機能について理解する。	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	・脳・神経系組織の概要について学ぶ。		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	・脳・神経系の主な疾患について理解する。	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	・脳・神経系組織の主な疾病、特に頭蓋内圧亢進、脳血管疾患、神経変性疾患、認知症、脱髄性疾患、感染症、脳腫瘍などについて学ぶ。		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	・運動器系の病理について理解する。	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	・運動器系(骨・関節・筋)の概要と、主要な疾病について学ぶ。		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	・感覚器系の病理について理解する。	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	・感覚器系(眼・耳・気道・皮膚など)の概要と、主要な疾病について学ぶ。		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	・後期、第9回から第14回の授業のまとめ	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	・後期、第9回から第14回の授業のまとめを行い理解を深める		
第31回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第32回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第33回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第34回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第35回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			